

平成19年8月8日

市民参画課
内線 2220

市民企画事業の応募状況について

奈良市は、平成18年度より市民の皆様からの自由な発想で市と協働して行う公益性の高い事業提案として、市民企画事業を募集しています。

平成18年度は11件の応募があり、このうち2件を採択し平成19年度で事業化して現在進捗中であります。

平成19年度も募集を行い12件の応募がありましたので、その状況をお伝えいたします。

1. 目的 市民の皆様の自由で多様な発想から生み出される企画を募り、市との協働で事業を実施します。
2. 募集期間 平成19年7月2日から7月20日
3. 内容 12件の応募
4. 今後のスケジュール
8月9日に審査委員会委員の委嘱を行い、今後の書類審査やプレゼンテーションの日程などを協議します。
決定された事業は平成20年度以降で提案者と市とが協働して事業化する予定をしています。
5. 応募事業について（事業概要は裏面）
大和茶「手もみ」技術の伝承
市民参加型フットサル場の建設
鹿が取り持つご縁「奈良と鹿嶋の交流と活性化を図る」
「蒼池湿原・自然型公園（ビオトープ）」への活用
世界遺産東大寺転害門に隣接する町屋を活用した地域活性化計画
（仮称）佐保川今在家桜公園整備計画
「マイボトル運動」と機能水の普及
「ありがとう 文庫（仮称）」の創設
第1回「奈良のシカ・検定」
浮見堂野外コンサート
奈良のむかし話を子どもたちに伝承する
生涯学習奉仕事業

平成19年度 奈良市市民企画事業 概要一覧

提案番号	1	事業名	大和茶「手もみ」技術の伝承
提案概要	現在、茶生産は、摘採から製造まで機械化が図られているが、技術発展の基礎は、先人たちより受け継がれてきた「手もみ」の技である。手もみの技術を消滅させることなく後世に伝え、良質な緑茶製造を行うために、「奈良手もみ茶振興会」を発足させ、手もみ茶技術の伝承をする。		
提案番号	2	事業名	市民参加型フットサル場の建設
提案概要	幼稚園児、小学生から老若男女を問わず、将来地域社会に貢献できるフットサル場施設を建設し、サッカースクールや、フットサル大会の開催はもちろん、市民の健康づくり、特に高齢者のラジオ体操や太極拳、ヨガ等を通じたコミュニケーションの場や、未就園児に対する遊びの場として利用する。		
提案番号	3	事業名	鹿が取り持つご縁「奈良と鹿嶋の交流と活性化を図る」
提案概要	奈良公園で鹿に関するイベントを開催した折り、奈良の鹿のルーツは鹿嶋であると知り、このつながりを通じて友好の輪を広げるために、観光・文化の交流(物産展・文化講演会)やスポーツ交流(サッカー留学)を行い、ひいては、奈良市と鹿嶋市が友好都市・姉妹都市の締結をすることを望む。		
提案番号	4	事業名	「蒼池湿原・自然型公園(ピオトープ)」への活用
提案概要	市が所有する「蒼池」は、現在水が抜かれたままで湿地の状態であるが、都会の中のオアシスとなっている。この「蒼池」を「水と緑を生かした自然公園＝水辺型ピオトープ」として蘇らせ、自然と共生する中で、市民の心がやすらぐ憩いの場とする。		
提案番号	5	事業名	世界遺産東大寺転害門に隣接する町屋を活用した地域活性化計画
提案概要	国宝転害門に隣接する市所有の旧南都銀行手貝支店跡の町屋を、観光集客都市づくりの一環として、奈良町の北エリア(きたまち)の観光ステーション、商業の活性化施設、自治会・ボランティア団体等のコミュニティ拠点等、多目的に利用できる施設として、住民と行政が協働して研究し、地域の活性化を図る。		
提案番号	6	事業名	(仮称)佐保川今在家桜公園整備計画
提案概要	市有地であり遊休地となっている川上八反田市営住宅跡地を、住民と行政が協働して「桜公園」として整備し、高齢者や児童が安心して過ごせる安らぎの空間を創造しようとするものである。平成20年度は、その第一歩として、当該敷地に桜の植樹を行う計画である。また、20年度以降において、桜公園の設計を行い、管理についても地元が協力して行う。		
提案番号	7	事業名	「マイボトル運動」と機能水の普及
提案概要	人々は健康のために清涼飲料水を飲むようになったが、その代わりにペットボトルゴミが増え、環境を悪化し健康を損なっている。環境をよくするために、「マイボトル運動」を普及させ、ペットボトルゴミを減らすとともに奈良の水道水を正しく見直し、さらにおいしい水道水から生み出される機能水(医療水)を普及させ、健康増進と医療費削減をめざす。		
提案番号	8	事業名	「ありがとう 文庫(仮称)」の創設
提案概要	子どもの成長に伴って読まなくなった絵本や児童書などを、市内の保育所から高校に通う子どもたちの保護者より寄贈していただき、保・幼・小・中・高へ再配置するとともに公民館にも設置し、絵本の読み聞かせ会を定期的で開催する。同時に、乳幼児を抱える母親の交流の場としても活用でき、子育て支援にもつながる。		
提案番号	9	事業名	第1回「奈良のシカ・検定」
提案概要	奈良公園のシカは、国の天然記念物に指定されている野生動物で奈良のシンボルであり市民の貴重な財産である。奈良のシカを保護するために、市民(観光客を含む)がシカの生態等の正しい知識を身につけ、よく理解して、まちぐるみで「真にシカと人間が共生できる社会」をつくる必要がある。そのために「奈良のシカ・検定」を行い、「人にも生き物にも優しい」まちづくりをめざす。		
提案番号	10	事業名	浮見堂野外コンサート
提案概要	浮見堂域において野外コンサートを行うことにより、奈良公園周辺の神社仏閣を訪れる観光客の集客と、市民の憩いの場につながるようにする。また、奏者を市民から募集することで、市民に生きがい活動の場を提供でき、音楽文化の高揚が図れる。		
提案番号	11	事業名	奈良のむかし話を子どもたちに伝承する
提案概要	先人の残した貴重な無形の財産であるむかし話を紙芝居にして語り継ぐことで、子どもたちに楽しんでもらいながら、伝えることができる。しかし、現状では、奈良のむかし話を紙芝居にしたものはない。子どもの本や、むかし話について、今まで培ってきた知識を活かし、より良い紙芝居を作成し、子どもたちに伝承していきたい。		
提案番号	12	事業名	生涯学習奉仕事業
提案概要	市民より、次の主旨に賛同するボランティアを募集し、生涯学習事業を実施する。 保育園で発病した子をすぐ親が引き取らなくてもよいように奉仕者(ボランティア)が病院に連れて行ったり看病する。 寝たきり老人の世話を介護士に頼らず、子がするようサポートする。 公民館の講師や学校のクラブ活動の世話人(教師の指導下で)。 学校の空教室を利用した市営の補習や受験指導サポート(退職教員の有志ボランティア)。 市営プール・学校プール・学校スポーツクラブの講習等。		